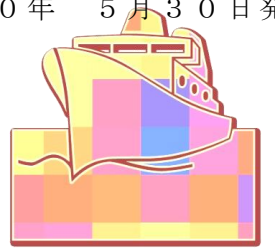


# 北海道天売高校 連絡船

## 第2号



### 役員認証式・生徒総会

～生徒全員で力を合わせて～



HR委員長に認証された、1年柳原くん、2年木村くん、3年三浦さん（左から順に）

4月25日（水）に役員認証式と第1回生徒総会を行いました。役員認証式では1年生の柳原玲央くん、2年生は木村研太くん、3年生は三浦玲奈さんがHR委員長に認証されました。学級のリーダーとして、より良いクラス作りのために尽力してくれることと思います。

第1回生徒総会では、昨年度の行事反省や今年度の行事計画について話し合いが行われました。3年ぶりに全学年が揃い、3年生が天高のリーダーとして進行をしていました。2年生と1年生はこれからの良い手本として今後に役立たせてほしいと思います。

少人数のため、生徒会役員とクラス役員は兼任するという多忙な環境です。全校生徒が協力して、私たちにしかできない学校づくりをしていきましょう。



真剣に議事を進行していました。

### 天売学「天売の観光Ⅰ」

～舟橋泰博氏をお招きして～

5月17日（土）に今年度最初の天売学が行われました。今回は羽幌沿海フェリー株式会社の代表取締役社長である舟橋泰博氏を講師に迎え、観光業の在り方について学習しました。最初は舟橋氏に過去の船の写真をもとに天売・焼尻航路の歴史や、町長をされた経験を踏まえて今後の羽幌・焼尻・天売の在り方について講演をしてい



舟橋氏の熱のこもった講演をまじめに聞く生徒たち。



生徒を代表して、三浦玲奈さん（3年）が謝辞を述べました。

の利用客を増やすためのアイデアについて活発な意見交換を行っていました。



生徒からは活発に意見やアイデアが出されました。

### 春季避難訓練

～落ち着いて避難しました～

5月10日（木）に春季避難訓練を行いました。



分遣所長 加藤 武氏の話をもとに真剣に聞いていました。

家庭科室から火災が発生したという設定で、体育館出口から避難しました。避難開始から避難終了の報告までに

かかった時間は1分57秒。避難経路を確認し迅速かつ冷静に行動することができました。そのあと、北留萌消防組合消防署天売分遣所長である加藤武氏からたばこやストーブが原因で起こった火災についてお話がありました。避難訓練を通して火災の危険性を再認識し、防災意識を高めることができました。

## 水産実習

### ～赤ガレイ燻製～



5月7日、8日に今年度初の水産実習「赤ガレイ燻製」を行いました。初日はカレイのウロコ取り、内臓の除去、調味料付け等の下処理、2日目は調味料につけておいたカレイをテナダと呼ばれる棒に吊るし、燻製室に入れる作業です。その後、2週間ほど燻乾と風乾を繰り返し、最後に焼酎で表面を磨くと完成となります。



1年生は初めての水産実習で下処理に苦戦する中、3年生は慣れた手つきで作業を進め、後輩たちに教えてあげる姿も見られました。



完成した品は9月の天高祭でお披露目する予定です。今年もおいしくなるよう皆で頑張っておりましたので、ご期待ください。



上級生と下級生が協力しながら、作業を進めています。

## 天売クリーン作戦

### ～島をより美しく～

4月14日（土）に「天売クリーン作戦」を実施しました。「天売クリーン作戦」とは、これから始まる天売島の本格的な観光シーズンを前に、天売小中学校と本校が合同で、島の幹線道路を清掃する恒例の行事です。あ



天売小中学校の児童生徒と協力しながら、島内のゴミを拾いました。

いにく気温が低く、天候には恵まれませんでした。天売小中学校の生徒や教員と協力しながら、自分たちの力で島をきれいにしようと、高校生らしく小中学生を上手にリードしながら一生懸命に取り組みました。天売小中学校在学時から参加している生徒会会長の三浦玲奈さ



みんなで拾ったゴミを前に、参加した全員で記念撮影。

先輩たちへのメッセージを述べました。

天売島の魅力を観光客に伝えるためにも、おもてなしの心を持って島民みんなできれいな島を維持することの重要性を改めて確認した一日でした。

ん(3年生)は、「私は今年度で最後の参加になりましたが、来年以降もこの取り組みを続けて、みんなでゴミのないきれいな島にしていきたいと思います。」と、感想と後

## 図書紹介

### ～本校の蔵書から～

本校にある蔵書から、北海道ゆかりの作家の作品を紹介します。

桜木紫乃氏の「ホテルローヤル」はご存じでしょうか。釧路市出身で現在江別市在住の生粋の道産子作家で、昨年の秋に北海道新聞夕刊の新聞小説「緋の河」の連載を開始しました。表題作「ホテルローヤル」で2013年の第149回直木賞を受賞しました。



「ホテルローヤル」(ハードカバー) 表紙



「新刊図書」コーナーに配本してあります。

釧路東高校に在学していたとき、桜木氏の実家が経営していたホテルの客室清掃を手伝っていたという彼女にしか紡げない、新感覚の恋愛小説です。オムニバス形式で書かれた作品ですので、まずは自分の好きな章

だけ読んでみてはいかがでしょうか。特に、道南地区の木古内町にある高校に通う女子高校生の佐倉まりあと彼女が通う高校で数学教師として勤務する野島広之を軸に描いた第5章「せんせえ」は現役の高校生と高校教師にとって一読する価値があります。「湿原」や

「丸三鶴屋」など、釧路市にゆかりのある名前のみならず、「スーパーカムイ」、「中島公園」など、北海道になじみのある固有名詞もたくさん出てきます。本校の「新刊図書コーナー」に置いてありますので是非お手にとってご覧ください。